

桑名文化協

平成22年9月20日

第 28 号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<http://bunkyo-kuwana.jp>

交流の大切さ



桑名市文化協会 会長 水谷 正



桑名市文化協会は、一昨年は韓国へ行って春川市の文化協会と交流してきました。また昨年は友好市である柏崎市の文化協会の桑名市訪問を受け入れ、交流の機会を持つことができました。他市の文化協会がどのような活動をしているかを知るとは、非常に大事なことで、とても参考になることが沢山ありました。

春川市では、日本からの訪問団

ということで大変盛大な歓迎会を開催していただき、役員の方が属する文化活動の一端をうかがい知ることができましたが、みんな高度な技量をお持ちの方ばかりで、答礼する私たちの無能さが露呈されて、恥ずかしい思いをいたしました。また小学校では、総合学習に伝統の農楽をとりいれ、三年生から六年生までの児童がそろって見事な演技を披露され、将来の担い手を育てておられる姿に感動いたしました。さらに地方の小都市にも大きな国立の博物館があり、郷土を愛する歴史教育を重視する韓国の方針にも感心させられました。

柏崎市は、文化協会としての歴

史は浅いのですが、広報は年四回の機関紙を出し、二、三年毎に分厚い本を出版するなど活発な活動を展開しています。芸能文化団体だけでなく、さらに幅広い団体に加盟を呼びかけています。桑名でもよく知られている「柏崎日記・桑名日記」の研究会もあり、交流会での重要な柱となりました。また演劇や音楽については鑑賞を目的とする団体も文化協会に加盟しています。

実は、私自身も縁があつて「柏崎植物友の会」の会員になっています。この会は身のまわりの身近な植物の研究会ですが、柏崎市の文化協会に加盟しています。したがって私は柏崎市文化協会の会員でもあります。現在の会長は、この友の会の会長である相沢陽一氏が選ばれています。友の会は月一回「植物の友」という機関紙を出しています。文化協会の広報が出た月にはそれを折り込んで送付されてきますので、私のような遠方の会員にも文化協会の全体がよくわかります。

このように他の組織と接し交流することによって、刺激を受けて自らの運営を改善していくきっかけ

けになると思います。皆さんが属する個々の団体でも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。どんどん他市の組織との交流をすすめていただくことを希望します。

桑名市文化協会では

会員を募集しています



桑名市文化協会は、広く市民の文化活動ならびに文化事業の振興と連帯感の育成を図り、もって市民の豊かな文化の創造と発展ならびに豊かな地域社会づくりに寄与することを目的に活動しております。

この目的に賛同し、桑名市文化協会に入会していただける方を募集しています。個人会員も大歓迎です。

入会するには、事務局（教育委員会文化課内）にある入会申込書に必要事項を記入し、ご提出ください。理事会の承認を得て入会となります。

第19回 桑名市民芸術文化祭

プログラム

第19回 桑名市民
芸術文化祭
水と緑と歴史が育む街・桑名

2010.10.16(土)~11.21(日)
2011.1.15(土)・1.16(日)

桑名市民会館・六華苑・くわなメディアライヴ

主催 桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

公事による山川愛乃さんの作品です。

桑名市文化協会

新春六華苑祭
2011年1月15日(土)・16日(日)
会場 六華苑
(共催) 桑名市文化スポーツ振興公社



●協賛事業

2010/10/10(日) 15時~	シャンテ・クレール 第22回定期演奏会 桑名市民会館大ホール
2010/12/19(日) 13時30分~15時30分	伊藤好子&ダンシングステップ(I.D.S) ジャズダンスフェスティバル "The10" 桑名市民会館大ホール
2011/1/30(日) 10時~15時	茶道遠州会三重支部 初春茶会 六華苑

10/16(土)~17(日) 16日 将棋大会10時30分~19時 光映会染色展 10時~17時 17日 囲碁大会10時30分~19時 光映会染色展 10時~17時	趣味教養祭 市民囲碁将棋大会 光映会染色展 くわなメディアライヴ多目的ホール
10/17(日) 13時~17時	音楽のフルコース 様々なジャンルの音楽 桑名市民会館 2階小ホール
10/23(土)~24(日) 23日 9時~17時 24日 9時~15時	趣味教養祭 桑名愛石会第30回記念水石展 くわなメディアライヴ多目的ホール
10/30(土) 14時~16時	くわコレ'10 ソーイングとニットイングの コラボでファッション 桑名市民会館 2階小ホール
10/31(日) 13時~17時30分	"5" ステップDEムーブメント モダンバレエ、フラダンス、 クラシックバレエ、ジャズダンス 桑名市民会館 大ホール
10/30(土)~31(日) 30日 9時~17時 31日 9時~15時	趣味教養祭 彫型画(年賀状作り)、手編み、 手織り、パッチワーク 桑名市民会館 展示室
10/30(土)~31(日) 30日 18時~20時 31日 ①13時~15時 ②17時~19時	ワンコイン演劇プロジェクト 第3弾「エキスパーツ」 くわなメディアライヴ多目的ホール
11/2(火)~3(水・祝) 10時~16時	華道展 六華苑 番蔵棟、会議室
11/3(水・祝) 10時~15時30分	茶道 六華苑 一の間、離れ屋、芝生庭園
11/7(日) 9時20分~17時	吟剣詩舞道の祭典 桑名市民会館大ホール
11/13(土)~14(日) 13日 13時~15時 14日 9時~16時30分	小倉百人一首かるた競技 六華苑 一の間
11/18(木)~21(日) 18日 12時~17時 19・20日 9時~17時 21日 9時~16時	美術部門展 絵画、書道、写真、工芸、彫刻、陶芸 くわなメディアライヴ多目的ホール
11/20(土) 10時30分~16時	桑名市指定無形文化財 「桑名の千羽鶴」まるごと体験!! 桑名市民会館1階展示室
11/20(土)~21(日) 20日 13時~16時 21日 10時~17時	芸能の祭典 日本舞踊、箏曲、大正琴、民謡 桑名市民会館大ホール
2011年3月発行	文協文芸 短歌、俳句、川柳、詩 各公民館・センターに設置

市民芸術文化祭へのお誘い

演劇 演劇集団Cブレンド 第6回公演

『エキスポーパーツ』

演劇部門(演劇集団Cブレンド)

相原 千景



各学部成績上位の学生に、突然送られた謎のメール。集まった彼らにより、いまだかつてない知的犯罪プロジェクトが幕を開ける。…と、思うかもしれないけど、専門分野で優秀な人が、何でも出来るとは限らない。

演劇部門では、今年度6月20日～7月4日、劇団すがお、演劇集団Cブレンド、そして、東員町の劇団員弁川の三劇団合同で、みえ県民文化祭演劇の集い『黄色いガタンコー』を上演し、2000人近くのお客様にご来場いただきました。それぞれの劇団の持ち味を活かした三部構成には多くのご好評をいただきました。

そして、今回の市民芸術文化祭へは、昨年度から桑名市文化協会へ加盟した新参者、演劇集団Cブレンドが名乗りを上げます。Cブレンドは、北勢地区の高校演劇出身者を中心に結成される、若さと元気がウリの劇団です。作品は完全オリジナル。「人間のどうしようもなくくだらないところを愛しむ」という作風です。役者それぞれの魅力を活かすキャラクター設定や台詞まわしで、Cブレンドにしか創れない演劇空間をお楽しみいただけます。

す。会場も演劇用のホールを使わず、メディアライヴ一階の多目的ホールに客席と舞台を組み上げての上演。「役者のつばが飛んでくる距離」での観劇は刺激的なはず。なお、客席数は1回に90席と少ないため、是非チケットご予約の上ご来場ください。

<http://www.c-blend.net/>

フラを通してのアロハスピリッツ

芸能Ⅲ部門(ラブリーフラ)

水谷 巴美



文化協会の芸能Ⅲ部門に昨年より加入し、今春の六華苑祭に子ども(ケイキ)や大人の生徒達も由緒ある場所で開催されて頂く事となり喜びと不安の中で無事に納めさせて頂きました。初めてのことばかりでご迷惑をかけた事とおりますが、役員の方々に導いて頂き、生徒達も大変喜んでおりました。今年10月31日の芸能祭に市民ホールの大舞台で発表出来る事になり今から緊張の中で練習に励んでおります。

私もラブリーフラはフラダンスを通して自然を愛でる心・人を愛する心を軸にソフトアンドエレガントをモットーに

子ども達にはいつも愛を感じて成長してもらいたい、また、全ての生徒達に寛大な心を養い協調性を踊りを通して育む事が出来ればと心がけています。

一人でもたくさんの方々に洋舞の者達のパフォーマンスを見て頂ければと思います。

日本トップレベルの技 百人一首競技かるた

趣味教養部門(桑名若菜会)

加藤 誠

「わがころもではつゆにぬれつつ」(ト)。読手が朗々と百人一首の下の句を詠みあげる。語尾(つつ)が約3秒伸ばされ、空白の1秒後、次の歌「むらさめのつゆもまだひぬまきのはに」と上の句が詠まれる。すると、その第一音(む)が聞こえたかどうかかわからない間にかかるたの札が飛びかう。

毎年正月にNHKのTV放送で日本一を決定する名人選・クイーン選が生放送されますが、それ以外は競技かるたを目にする機会はないのが実情かと思えます。

競技かるたは今では国民文化祭の一種目として都道府県対抗の全国大会が開催されるようになり、当会からも三重県代表選手を多く送り出しております。今回、これら代表選手をはじめ、トップレベルの選手たちによる競技かるたの技を皆さんにご覧いただ



きたいと思えます。

11月14日(日)六華苑にて開催しますので、是非ご来場いただきますよう、お願いいたします。

また、前日13日(土)には初心者向けかるた教室を開催しますので、こちらも是非ご参加ください。

寿ぐ「新春六華苑祭」

六華苑祭担当

副会長 荒木 敏文

平成17年にスタートした「新春六華苑祭」も、今回で7回目の開催となりました。

国の重要文化財である「六華苑」の和館・洋館・離れ屋・番蔵棟等を会場として、多くの文化協会会員の協力により開催しております。

私は、第1回の開催から携わっており、当初に比べ、年毎に、派手やかになり、参加団体・出演者が増え、また、来苑者も増え、大変喜んでいただいております。

しかしながら、会場が限られていることにより、控え室の確保、出演時間の調整、また、多くの来苑者へのサービスが満足に出来なくなりつつあり、大きな課題と思っております。

第7回新春六華苑祭は平成23年1月15日16日の2日間で開催し、文化協会加盟団体のご協力とご支援のもと、桑名の新春を寿ぐにふさわしいイベントとして、来苑者に喜んで頂ける内容を計画してまいります。

ご来苑お待ちしております。



平成22年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

団体名	事業名	開催期日
芽衣会	尾張絵展	22・4・9～4・11
片桐会	琴アンサンブル音粋 琴ボビュラーソングコンサート	22・4・10
桑名愛石会	桑名愛石会 第29回水石展	22・5・15～5・16
くわな市民コーラス	くわな市民コーラス 第16回演奏会	22・5・23
桑名市文化協会	第16回みえ県民茶会	22・6・6
茶華道部門	第18回 彫型画桑名合同展	22・7・21～7・25
桑名彫型画サークル	日韓友好親善美術展	22・9・2～9・5
桑名国際美術交流会	第5回イ・フィオリ ～初秋によせて～	22・9・5
イ・フィオリ	シャンテ・クレール第22回定期演奏会	22・10・10
シャンテ・クレール	「メ・ケ・アロハ桑名」フィ・フラ・オ・レイ	22・12・5
桑名第九記念合唱団	アロハ桑名支部 開講13周年記念祭	22・12・19
フィ・フラ・オ・レイ	ぐるーぷ東邦楽演奏会	22・12・19
アロハ桑名支部	ジャズダンス フェスティバル	22・12・19
ぐるーぷ東	シングステップ	22・12・19
伊藤好子&ダン		
シングステップ		

この中の3部門の方々に活動紹介をしていただきます。

桑名愛石会

第29回水石展

趣味教養部門 (桑名愛石会)

中山 雅 幸

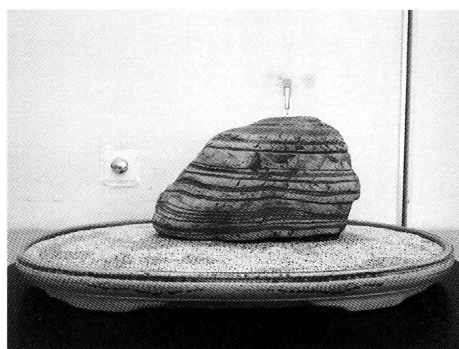
桑名愛石会の第29回水石展は会員13名と家族2名の15名出品による、36石展示

の水石展と成りました。今回は例年より展示スペースを増設しましたので、観覧者よりいつもに増して見応えが有ると好評でした。展示石は三重県産石と地元員弁川石が8割近くとなり、石の飾り(演出)についても高評価を得、桑名愛石会の特色と水石文化をアピールする事が出来たと思います。

来場者については、開催案内はがき発

送と愛好誌月刊「愛石」及び新聞の催物案内に掲載頂き、また、天候にも恵まれましたので、市民の方のもとより、愛好団体としては東海三県、遠くは京都、福井県からも来て頂きました。2日間で380名程の方に観覧頂き、桑名愛石会と共に員弁川石を主に三重県産石の素晴らしさを実感頂けたと思っています。

今回の桑名愛石会第29回水石展出品石については、全国愛好誌、月刊「愛石」8月号に3頁、カラー掲載しましたので桑名愛石会を全国に発信できたと思います。



第18回

彫型画桑名合同展

趣味教養部門 (桑名彫型画サークル)

加藤 由貴子

平成二十二年七月二十一日(水)から七月二十五日(日)まで桑名市博物館で彫型画桑名合同展を開催させていただきました。

期間中は日本で一番目の記録三十八度を超える暑さの中無事終了する事ができました。

入場者六百八十四名、出品者四十名、作品百四点。一年間の学習発表として、立派な会場と並べることができました。伊勢型紙として鈴鹿地区を中心に発展した洪型紙ですが、三重県の特産、そして彫型画『創作美術工芸』を桑名でもと思いつながら、これからの作る楽しさを一人でも多くの方々に知っていただきたいと思います。

十月三十日(土)三十一日(日)には市民会館にて年賀状講習会も行います。たくさんのご来館をサークル一同でお待ちいたしております。

最後に展示会をご高覧下さった方、たくさんのご意見、感想をいただきありがとうございました。

桑名文協の皆様、今後とも宜しく御指導のほどお願い申し上げます。

感謝



ハーモニートともに

音楽部門(シャンテ・クレール)
寺 倉 功 博



私たちシャンテ・クレール(桑名第九記念合唱団)は、定期演奏会を重ねて22回となりました。これもひとえに私たちを支えて下さっている市民の皆様、そして団員の家族あつてのたまものと、心より感謝をいたしております。

合唱から生まれるハーモニートの心地よさに魅せられて二十数年があつと言う間に経ってしまいました。

そんな私たちに桑名市文化協会育成補助金事業として「シャンテ・クレール第22回定期演奏会」を承認して下さいましたことに、団員一同、心より感謝申し上げます。

ハーモニートは一人では生まれません。二人以上の声が必要です。二人より三人、三人より四人と人数が多ければ多いほど良いハーモニートが生まれます。重厚な、

そして荘厳な和音、ハーモニートの中に身を置くと、心が震えます。

心が落ち着くハーモニート。

心が踊るハーモニート。

心が騒ぐハーモニート。

そして未知のハーモニート。

百聞は一見にしかず。いえ、百文は一聴にしかず。ぜひ、十月十日三時からの演奏会に来ていただいて、皆様もハーモニートを楽しんで下さい。



この流儀紹介

『花とともに』

茶華香道部門(末生流中山文甫会)

片山喜代子

末生流の流儀花は格花です。江戸時代文化文政の頃に創案されたもので、三角形を基本に一本の水際でまとめているのが特徴です。

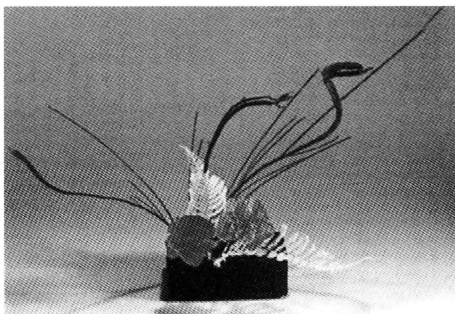
格花の誕生は当時としては革命的な出来事で、それまで一部の特権階層のいけ花が急速に庶民の間に広まり大衆化した様です。



現代では、床の間付の住宅も次第に少なくなり、格花も今日的な意味も薄れつつあるともいえます。

花型も時代と共に著しく変化しています。格花を基本に洋間にもマッチする「新格花」。狭い空間に対応でき花材も少なくてすむ小品の「明花」等が誕生しました。五〇年先はどの様な展開になっているのでしょうか。

しかしどの様な時代になっても病室に飾られた一輪の花に心癒され、恋人に贈られた花束に心おどらされる。花の力は変わらないすばらしいものです。そんな花の偉大な力、花の魅力を最大に表現できる様、さらに一層学んでいきたいと思っています。



第19回桑名市民芸術文化祭 ポスター入賞者表彰式



左から大橋教育長、山川愛乃さん、大谷典子さん、水谷会長

今年度の文化祭ポスター原画には、精義小学校一年生の山川愛乃さんが市長賞を受賞されました。水と緑と歴史の街・桑名を、明るく生き生きと描いた素晴らしい作品です。

佳作には、市内在住の大谷典子さんが選ばれました。

8月4日(水)に表彰式を行い、教育長と水谷会長に表彰していただきました。



桑名地名あれこれ(3)

社会文化部門

大河内 浩

(個人会員)



緑地帯の公園となった三丁掛堀

桑名旧市街地で育った五十歳代以上の方々には三丁掛(さんちようがけ)という地名を聞いたことがあると思います。久波奈名所圖會(文化元年一八〇四刊)には、「瓦師瀬古より本統寺迄の縄手、田所の惣高三町不足する故、三丁欠と云り」とあり、現在の、北鍋屋町・大央町・京橋町に比定されます。

ところが三丁掛の名が現れるの

はもつと古く、南北朝時代の興国

七年(貞和二年(一三六六))に足

利幕府より桑名春日神社へ神領八

百石の寄進の記述が見られます。

一説に、田一町で三町分の米が収

穫できるほど良質で肥沃な田で、

故に三丁掛と言ったとも伝えられ

ます。その後も慶長六年(一六〇二)

に徳川家康より春日神社へ、この

三丁掛に神領百石寄進があり、石

取祭車を持たない京橋町や北鍋屋

町が春日神社の氏子町内となつて

きた所以です。

桑名城下市街の一番外廓に巡ら

された惣堀は、北の方から俗に寺

町堀、吉津屋堀、三丁掛堀と呼ば

れてきましたが、平成時代になり

この三丁掛堀は暗渠化されて緑地

帯の公園となつて、市民の散策に

供されています。また昭和二十三

年の自治会発足でその名が受け継

がれた三丁掛自治会は同三十三年

に大央町と改称しました。



ご賛助いただいております

特別会員の皆様

(五十音順)

9月1日現在

医療法人誠会 山崎病院様
お菓子処 「和」様
カネソウ株式会社様
株式会社 ケイディーエンジニア様
株式会社 山王鉄工所様
株式会社 東和様
株式会社 水谷精機工作所様
株式会社 レイ・ステージ桑名様
桑名信用金庫様
在日本大韓民国民団三重県桑名支部様
山水園様
中央不動産株式会社様
辻内鋳物鉄工株式会社様
兎月堂様
内藤株式会社様
花新江場中店様
花乃舎様
光精工株式会社様
三重精機株式会社様
森田フードシステム株式会社様
有限会社 茶茂様

日頃のご協力に對しまして、
深くお礼申し上げます。

編集後記

異常な気候に見舞われ地球上の各地で色々な災害を耳にする今年ですが、それにもめげず伝統文化をはぐくみ各部門熱意を込めて一生懸命頑張っております。一人でも多くの市民の皆様に関心を持って頂けるように、次世代へ引き継いでゆく事は容易な事ではないと思います。が、一歩又一歩とこの積み重ねが大切な事だと存じます。日時の過ぎるのは早いものです。大切な時間を有意義にそして文化向上をより以上築いていけるよう一層の努力を重ねて参ります。

(渡邊法子)

広報担当副会長
委員

文学部門	中山 雅幸
美術部門	木原 広志
音楽部門	近藤 光治
芸能I部門	岡村 理恵
芸能II部門	渡邊 法子
芸能III部門	尾崎三千男
芸能IV部門	水谷 巴美
演劇部門	相原 千景
社会文化部門	大河内 浩
茶華香道部門	白木 宗弘
趣味教養部門	加藤 誠